

第2回稲沢市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

【日 時】 令和2年11月12日（木） 午後3時～午後4時10分

【場 所】 稲沢市役所政策審議室

【出席者】 稲沢市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員（敬称略）

秀島栄三 名古屋工業大学大学院工学研究科教授

小森昌哉 共栄食品株式会社代表取締役

白橋正樹 稲沢金融懇話会幹事

後藤 靖 連合愛知尾張南地域協議会代表

稲熊雅子 三工機器労働組合執行委員

伊藤香太 公募

田口そら 公募

〈事務局〉

篠田智徳 市長公室長

吉川修司 企画政策課長

飯田達也 企画政策課統括主幹

野中知華 企画政策課主任

【議事次第】

1 市長公室長あいさつ

2 議事

（1）第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

（2）その他

3 市長公室長あいさつ

【会議の概要】

1 市長公室長あいさつ

第2回稲沢市まち・ひと・しごと創生戦略会議の開催にあたり、一言あいさついたします。

本日は皆様大変お忙しい中、第2回稲沢市まち・ひと・しごと創生戦略会議に出席を賜りまして、誠にありがとうございます。日頃は市政各般にわたりまして御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先回の会議では、市長から委員の皆様へ委嘱状をお渡しし、また、国では急速な

少子高齢化、人口減少、東京一極集中といった問題があり、そうした社会現象は本市においても例外なく進み、交付税や税収等の歳入の縮減、扶助費等の歳出の増加は避けられず、財政的に年々厳しくなることを説明させていただきました。

また、昨今報道されておりますとおり、新型コロナウイルス感染症に関しまして医師会から第3波に入ったと言われております。米国の製薬会社でワクチンが開発されたという発表もありますが、これからどうなっていくのか不透明な状況です。そうした中で本市の総合戦略を作っていくことは困難なことです。皆様方の御意見をいただきながら策定を進めてまいりたいと考えております。

本日は次第の協議事項にあるとおり、第2期総合戦略の素案について委員の皆様から忌憚のない御意見をいただけたらと考えておりますので、限られた時間の中ではありますが、皆様の御意見をいただきますようお願いいたします。

2 議事

(1) 第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について

[会長]

まず始めに、本日の議事の(1)「第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案」について、事務局から説明をお願いします。

=事務局=

第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について説明

【資料1～4】

○質疑

[委員]

資料1の前半部分11頁までは第1回戦略会議で議論した策定方針を踏まえて作成されたものですので、委員の皆さんも御了解いただいているところだと思います。この会議では、それ以降の後半部分12頁からのアクションプランを主に精査していきたいと思います。今記載されているKPIが適正か、また、他に良いものがあれば意見ををお願いします。

[委員]

まず、基本目標(1)「市のポテンシャルを生かした定住を推進します」が第2期総合戦略の一丁目一番地になると思います。こちらの基本目標に対する数値目標である社会増は第1期総合戦略の検証では5年間で△661人でしたので、400人の増

加を目指すのは現状と乖離があるように思うのですが、どのように設定をしたものですか。

[事務局]

社会増を400人と設定した根拠につきましては、第1回戦略会議にてお示ししました国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」の本市の人口推計の社会増分を参考にしたものです。

直近の本市の社会増はマイナスですが、この先5年間に400人程度の社会増がない場合は、推計された人口も維持できないことから目標としました。

[事務局]

補足としまして、基本目標（1）中の基本的方向②「名鉄国府宮駅周辺の再整備及び新たな住居系市街地の形成」の取組みである稲島東や高御堂南等といった地区のまちづくり推進事業が順調に進んだ場合は、このように社会増も見込めるのではないかと考えております。

[委員]

名鉄国府宮駅前再整備やまちづくりだけですと、第1期総合戦略とあまり変わらないように思います。都市開発を行い、農地や雑種地を住宅等の市街地に変えていく、力強い手法をとっていかなければならないと思います。

都市計画マスタープランでは名鉄国府宮駅周辺のまちづくりを計画しているようですが、今後リニアが開通することを考えると、JRの利便性が高まると考えられます。

乗降者数の推移をみると、名鉄国府宮駅はあまり変わりありませんが、JR稲沢駅は下津地区の区画整理の影響か年々増加しています。また、5年後に下津地区に移り住んだ方が電車を利用する年齢になりますと、更にJR稲沢駅の乗降者数が伸びるのではないのでしょうか。私は普段は名鉄国府宮駅を利用するのですが、出張などで新幹線に乗るときにはJR線が便利のため、JR稲沢駅を利用します。

JR稲沢駅の東にまだ開発の余地がある地区があるようなので、こちらの開発をすすめることも検討してはどうでしょうか。

[事務局]

基本目標（1）市のポテンシャルを生かした定住促進につきましては、市街化区域と市街化調整区域というものがあります。大まかにいうと、市街化区域は開発が可

能で市街化調整区域は建物の建築が制限されるといった制約があります。このため、市として条例制定を行い、市街化調整区域の一部地域において住宅着工が可能となるような規制緩和を行いました。まだ、条例制定して間もなく徐々に新規の住宅が建設されている状況であるため、この影響が今後の社会増として増えてくるのではないかと考えております。また、市内には名鉄尾西線を含めて11の鉄道駅があります。この鉄道駅周辺を地区計画の手法によって民間主導の開発が可能になるよう、市街化調整区域内地区計画運用指針の見直しを行いました。住居系市街地はこの部分でも増やしていこうと思います。

また、本市は市街化区域が南北に薄い状況であるため、名鉄国府宮駅に近い部分で土地区画整理事業を行うことで、住居系市街地を増やして住宅を建てられるようにしていこうと考えております。JR稲沢駅の近くについては委員の仰る通りですが、5年間の計画期間で考えますと、まずは国府宮駅周辺の3地区を想定しております。都市計画マスタープランは10年の計画期間ですのでJR稲沢駅東の国府地区も含まれています。今回の計画期間内ではそこまで手広く取り組むことはできないということから名鉄国府宮駅周辺の3地区ということにしております。

[委員]

このことについて、難しい内容であるため解説を追加するなど書きぶりを工夫してはどうでしょうか。

[事務局]

担当課と調整のうえ、書き方について検討いたします。

[委員]

基本目標(1)数値目標「住居系市街地の新規増分」について、参考にした都市マスタープランの46haという数値は具体的な地区の面積を積算した数字でしょうか。また、指標の目標値は該当の地区のまちづくりを進めると達成できると考えて良いでしょうか。

[事務局]

今後、核家族化が進行することによって世帯数が増加すると想定されることから、不足する住居系市街地面積を将来人口から割り戻した概念的な面積であり、地区を想定した数字ではありませんが、結果として、今後まちづくりを行う4地区の面積の合計と近い数字になっております。

[委員]

補足としまして、目標値の 26.7ha は 10 年後に不足すると考えられる面積の 46ha を計画年度の令和 7 年までの 6 年間で単純に割り戻した数値なので、少し乱暴な設定という意見もございます。地区の面積で積算していった方が良いのではないかと意見もございますので、今後、担当課とヒアリングを行う中で変更する可能性があることをお含みおきください。

[委員]

基本目標(1)「市のポテンシャルを生かした定住促進」の中で数値目標に「ふるさと応援寄付の寄付者件数」があるのはどんな理由からでしょうか。寄付をすることがいずれ定住につながると考えるものでしょうか。

[事務局]

移住、定住することのハードルは高いと思いますので、まずは本市と関わりのある状態の「関係人口」を増やしていくことで、移住、定住を考える方の裾野の広がりを測る指標の一つとして提案いたしました。

[委員]

今回新たに「スポーツまちづくり」の記載があります。若い世代ならではの意見や感想等はありませんか。

[委員]

私も中学生のころからバレーボールをしており、総合体育館でバレー選手の指導を受けたことがあります。このような機会が多くあれば、もっと多くの方がスポーツに取り組むだろうと感じました。

しかし、最近では部活動も以前よりは活発に行われなくなっており、テレビゲームに夢中な子どもも増えてきていますので、無理に従来のスポーツ振興を行うのではなく、今の子どもたちにあわせて、最近話題の e スポーツを視野に入れるのも取り組みの一つだと考えます。現に、本市からも有名なプロ選手を輩出していると聞きます。今後はそういった新しい分野に注力してはどうでしょうか。

[委員]

私は本市が「スポーツのまち」と感じたことはありません。

最近は学校での部活動の時間が短くなっていると聞きます。しっかりとスポーツに打ち込みたい子どものために地域のクラブチームをつくり、部活動とクラブチームでスポーツに打ち込める環境をつくってはどうか。

[委員]

基本目標(2)「第2子、第3子が生まれる環境をつくります」の数値目標として、合計特殊出生率が設定されていますが、様々な取組みの結果であるだけで、市の取組みで何をしたらこの数値になるのか説明がつかないと思います。

[委員]

子育て支援施策については、各市町村がそれぞれに取り組んでいて連携がとれていないように感じています。

また、実際に私が子どもを育てていて周囲を見てみると、子育てしている方は結構しっかりと情報収集をしています。もし、子育て支援について本市独自の取組みや実効的なアプローチがあるのであれば、その情報が移住のトリガーになりうると思いますので、第2期総合戦略の中で示せたら良いのではないかと思います。

[事務局]

子育て支援については、県内は比較的裕福な自治体が多いことから経済的な負担軽減等の取組みを行っても、すぐに追随されてしまい独自性を出すことが困難な状況です。

その中で本市の特徴的な取組みは子育てに関する相談体制が充実していることがあげられます。今年2月に新たに中央子育て支援センターがオープンしましたがその中の子育て支援総合相談センターで子育て全般に関して悩みや困りごとなどに、家庭児童相談員や保育士、保健師などがワンストップで対応します。

また、今後取り組むべきこととして保育士の確保が課題だと考えております。現在は、市内の保育士を養成する学校と連携して潜在保育士確保のためのセミナーを行っておりますが、更にシステムチックな保育士マッチングの仕組みとして、本市より南の保育士養成校がない地域と地域間連携を行うことで保育士確保ができないかといった検討も必要ではないかと考えております。

[委員]

全体を通して、基本的方向にはK P Iの設定があり進捗を管理するものだと思いますが、主な事業として記載されているものに対してはデータを収集するなど進捗

管理を行うのでしょうか。

[事務局]

主な事業について定量的な管理をするかは未定ですが、どのように取り組んだか、またどのように進捗したか等は把握していく予定です。

第1期総合戦略に記載している事業は全てKPIを設定しましたが、すべての事業に数値目標を設定して効果を測定することは難しいとの反省から、各基本的方向として施策を掲げ、その中で色々と事業に取り組んだ結果、施策全体としてどのように効果があったかを測定するといったことを考えております。

[委員]

基本目標（4）の第1期総合戦略の数値指標「稲沢市を住みやすいと感じる市民の割合」はどのように統計をとったものですか。また、住みやすいと感じている人やそのように感じていない人の理由がわかるのであれば、その結果を第2期総合戦略に反映させると良いと思います。

[事務局]

本指標の数値は、市が隔年で行う市内在住の満18歳以上の方から無作為抽出した2,500人を対象に調査した市政世論調査の結果です。

「稲沢市を住みやすいところだと感じますか。」という設問に、「住みにくい」と回答した方へ理由を尋ねる問いを設けており、「交通の便がわるい」との回答が36.8%と最も多い理由でした。その中で、鉄道駅近くやコミュニティバスや名鉄幹線バスの路線近くの方は交通環境に満足していらっしゃるようですが、そうでない地区の方が不便を感じていらっしゃるようです。その対策として、交通弱者の方には「おでかけタクシー」としてタクシー料金の助成制度を設けております。住みやすいと回答した方には理由を尋ねていないため理由は不明です。

[委員]

統計からみえてくる強みはもっとアピールすべきであると思いますし、弱みは対策を打って改善していく方向性を第2期総合戦略に盛り込めると良いと思います。

[委員]

SDGsのアイコンを第2期総合戦略内に記載していますが、今後、SDGsに関連して市として何かに取り組み、PRしていく予定があるのでしょうか。

[事務局]

国は、国の第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の横断的目標「新しい時代の流れを力にする」の中で「地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり」を掲げております。まち・ひと・しごと創生法にて市町村は国及び県の総合戦略を勘案して市町村総合戦略を策定するよう努めることとしており、また、地域活性化に向けた取組みを推進するにあたってSDGsの理念に沿って進めることで、地方創生の一層の充実・深化に繋げることができることから、政策分野ごとに関連するSDGsの目標の結びつけを行いました。

[委員]

SDGsについては、カードゲームを用いてSDGsの達成について、また、その考え方について学ぶワークショップが各地で開催されています。第2期総合戦略の策定にあたっては、パブリックコメントを市民参加の取組みとして実施する予定と聞いていますが、そのような取組みも検討してはどうでしょうか。

[委員]

稲沢市は、市公式LINEアカウントを開設していると思うのですが、今後市政世論調査などのような調査にSNS等を利用する予定はあるのでしょうか。

紙ベースでの調査は記入後に郵便ポストに投函する必要があり手間に感じることから、回答が面倒でやめてしまう方も多いと思います。オンラインで回答ができるようになれば、色々な意見を聞くことができるようになるので有用だと考えます。

[事務局]

現時点では、本市LINEアカウントの友だち追加をされている方は数千人程度であることと、また、オンラインでの回答が難しい方もいらっしゃると思いますので、一般的な傾向を捉える調査については当面は現行の方法で続けざるをえないと考えますが、オンラインでの調査についても今後検討してまいります。

[委員]

第2期総合戦略については、本日の内容で基本目標、基本的方向を決定して、担当課に本日の意見を戻して修正する程度で、完成版に近いものとなったと考えてよろしいですか。

[事務局]

本日の資料については（素案）としておりますように、担当課から総合戦略に掲載する事業シートを提出させ、取りまとめたものに事務局の考えを若干加味したものです。今後、本日の会議で委員の皆様からいただいた御意見や地方創生に係る他自治体の先進事例等を担当課に提案しながらヒアリングを行います。その中で新規事業なども第2期総合戦略に盛り込めるよう検討しながら、ブラッシュアップしていきたいと考えております。次回の第3回戦略会議にてパブリックコメントを募集する際の第2期総合戦略案を固め、その後、議会各会派に説明を行う中でいただく御意見やパブリックコメントで市民の方から頂戴する御意見を反映させます。その後、第4回の戦略会議でほぼ完成版の案をお示しさせていただき、委員の皆様の御意見を受け修正したものを最終的な完成版とし、公表してまいりたいと考えております。

(2) その他

[会長]

次に、議事の(2)「その他」について、事務局から説明をお願いします。

=事務局=

今後の予定について報告いたします。本日の会議でいただいた御意見を事務局内で検討させていただき、それを第2期総合戦略素案に反映したうえで、来年1月28日(木)に第3回の戦略会議を開催いたします。その後、第3回戦略会議と2月に実施予定のパブリックコメントの御意見を反映させて、3月23日(火)に第4回の戦略会議を開催して委員の皆様にも最終案をお示しし、その後ホームページ等で公表したいと考えております。

○質疑

[会長]

ほかに意見等はございませんでしょうか。

特に意見等ないようですので、これで会議を終了したいと思います。その他、事務局から何かあればお願いします。

[事務局]

本日はありがとうございました。委員の皆様方からいただきました御意見を踏まえ、今後の事務を進めてまいります。

それでは最後に、市長公室長からあいさつ申し上げます。

3 市長公室長あいさつ

本日は長時間にわたって活発に御議論いただきありがとうございました。

委員の皆様からいただきました御意見につきましては、持ち帰りまして各課と調整する中で次回に向けてまとめていきたいと考えております。コロナ禍で会議の開催も難しい状況でございますが、なるべく広い会場で開催いたしますので御参加いただきますよう、よろしく願いいたします。

本日のお帰りの際には交通安全に気をつけてお帰りいただきますようお願いいたします。また、会議終了後、お気づきの点や御意見等あれば、企画政策課まで御連絡いただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。